



学校だより

鈴鹿市立若松小学校

わかまつ

№20

令和5年11月8日

11月いじめ防止強化月間！

三重県では、11月をいじめ防止強化月間として、いじめを生まない環境や社会づくりを目的にピンクシャツ運動を実施します。ピンクシャツ運動は、2007年にカナダで誕生した「いじめ反対運動」です。運動のきっかけは、カナダの中学3年男子生徒がピンクのポロシャツを着て登校したことでいじめられ、それを知った高校生が、ピンクシャツを大量に購入し、メールや掲示板で友人知人などに翌日に着用することを呼びかけ、翌日呼びかけた以上の学生がピンクの服で登校し、学校がピンクに染まりいじめがなくなったことからです。ピンクのシャツや小物を身につけることで、「いじめ反対」のメッセージを示すとともに、いじめの問題を個人や当事者間だけの問題ではなく、社会全体の問題と捉え、いじめの定義や、傍観者になることなどを含め、様々ないじめの問題について考える機会とします。

若松小学校でも11月のいじめ防止強化月間において、いじめ防止のぼり旗を掲示するとともに、児童会が主体となったいじめ防止等の取組を実施したり、弁護士さんによるいじめの予防授業を行ったりするなど、より一層の取組の充実を図っていきます。以下に、お子さんの様子が気になった時に、お子さんの変化を具体的に把握するための「いじめ早期発見のための気づきリスト」を掲載しますのでご活用ください。

子どもの様子

【朝：登校前】

- なかなか起きてこなかったり、体調不良を訴えて休みたがったりする
- 学期初めや休み明けに登校を嫌がったり、元気がなかったりする
- 食欲がなくなったり、会話がなくなったりしている

【夕方：下校後】

- 勉強しなくなったり、集中力がなくなったりしている
- 持ち物や自転車などが壊れたり、なくなったりする
- 必要以上にお金をほしがるようになった
- 親しい友人と遊んだり、連絡を取ったりしなくなった
- 服の汚れや体のあざや擦り傷があり、理由を言いたがらない



【夜：就寝前後】

- 学校や友人の話題を避けるようになった
- 部活動や学校をやめたいと言うようになった
- 自分の部屋に閉じこもる時間が増えた
- ささいなことでイライラしたり、落ち着きがなくなった
- スマートフォンやSNSをひどく気にするようになった
- 寝つきが悪かったり、夜眠れない様子がある

【その他気になること】

(

)

5年食育 『地域の食べ物を知ろう(地産地消)』



11月2日(木)の3,4限に5年生が食育の授業を行いました。まず、地産地消運動の一環として、平成21年6月から実施している「みえ地物一番給食の日」の献立について、「何の日の献立であるのか、どの食材が三重県の地物なのか」を、



北川栄養教諭から説明してもらい、三重県の特産物についてクイズ形式で考えました。次に、給食の献立表から鈴鹿市産

や三重県産の食材を探し、地域の食材が多く使われている理由を考えました。子どもたちは、地域の食材を食べることで、自分たちの住んでいる地域を大切にする気持ちを養い、地域を元気にすることへつながることを学びました。



大黒屋光太夫に関連した給食

11月1日(水)の給食の献立は、「紅茶の日」に関連して「米粉の紅茶蒸しパン」が提供されました。子どもたちは、紅茶の風味を楽しみながら、おいしくいただきました。



Q: どうして、11月1日に紅茶を使用した給食が提供されたのですか?

A: 若松出身の「大黒屋光太夫」が1791年11月、ロシアの女帝「エカテリーナ2世」に招かれ、日本人として初めて、正式な茶会で紅茶を飲んだ人とされています。このことに基づき、日本紅茶協会が11月1日を「紅茶の日」と決めました。紅茶を使用した学校給食の提供は、本年度で12回目となります。